

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)					
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)				
							継続	新規								
	定実施計画及びワークプランに基づき活動を実施中。 〔カウンターパート受入実績〕 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年度</td> <td>元</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </table>	年度	元	2	人数	1	4									
年度	元	2														
人数	1	4														
シードバンク計画		61	事前調査	61. 7. 20～ 61. 7. 27		1,117		1	2,842		3,959					
		3				322		3	3,096		3,418					
アジア地域畜産開発プロジェクトファイディング調査	(ビルマ, ラオス) アジア一般を参照のこと。	51	事前調査	51. 11. 29～ 51. 12. 20	(5)	⑦ (210) (2,353)					(2,563)					
東南アジア林業協力事前調査	(ビルマ, マレーシア) アジア一般を参照のこと。	51	事前調査	51. 12. 7～ 51. 12. 22	(5)	(1,593)					(1,593)					
林業収穫技術協力プロジェクト巡回指導	(ビルマ, インドネシア) アジア一般を参照のこと。	54	巡回指導	54. 8. 26～ 54. 9. 9	(5)	(1,937)					(1,937)					
アジア地域プロジェクト運営指導 (1班) バングラデシュ, ビルマ, ネパール (2班) バングラデシュ, フィリピン, タイ	(バングラデシュ, ビルマ, ネパール, フィリピン, タイ) アジア一般を参照のこと。	55	巡回指導	55. 10. 5～ 55. 10. 22	(2)	} (1,344)					(1,344)					
		"	巡回指導	56. 3. 13～ 56. 3. 29	(6)											
海外農林業教育研究調査	(ビルマ, スリ・ランカ) アジア一般を参照のこと。	56	基礎調査	56. 12. 12～ 56. 12. 26	(4)	(1,666)					(1,666)					
		57	"			⑧ (219)					(219)					

ミヤンマー

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
南西アジア農林業協力 (農業)	ビルマにとって、農業は、農業人口及び輸出産物の面からみても最も重要な産業である。このため同国政府は、収穫後処理過程における品質低下と量的ロス軽減を目的とした収穫後処理技術開発計画、造林・伐木運材等の技術訓練を目的とした林業開発訓練センター計画及び灌漑技術者養成を目的とした灌漑技術センター計画の3案件を要請してきた。本件調査団は、3要請案件につき、要請内容の確認、優先度並びに協力の可能性等の把握・関連資料等の収集のため、相手国政府と協議し、現地調査を行った。	59	プロジェクトファインディング調査	60. 3. 1～ 60. 3. 12	4	2,541					2,541	
植物遺伝資源研究		61				2,462					2,462	

産業開発協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
畑作物開発技術協力	ビルマ国の畑作物開発についての技術協力要請に対し、わが国は事前調査団を派遣し、ビルマ国の畑作生産開発計画の確認、意見交換および開発優先度の高い地域の現地踏査を実施するとともに、ビルマ国の畑作物の生産の中で開発技術協	51	事前調査	51. 11. 29～ 51. 12. 28	5	3,911					3,911	
		52	{ 同上 } { 52年度 } { 支出分 }				698				698	

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	力の対象となる分野と協力の可能性をさぐり、協力の基本方針を策定した。											

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	東南アジア・デルタ調査	(ビルマ、タイ、インド、台湾、パキスタン) アジア一般を参照のこと。	37	投	37. 10. 20~38. 2. 9	(3)	(613)
2	鉱物資源調査	南部のマークおよびチャイト地区等の鉄鉱石調査。	37	投	37. 11. 19~37. 12. 27	5	5, 150
3	イラワジ河架橋計画調査	ビルマ国の東西経済圏は、同国中央部を南北に貫通しているイラワジ河により分断されており、特に豊富な鉱物資源、森林資源をもちながら東西交通の欠如により未開発のままである西岸地区の開発のため、同河の中流地域の中心都市プローム付近に架橋し、東西交通の整備ひいては西岸地区の開発を促進しようとする計画である。同国政府が昭和48年3月に基礎的調査を行った3ヵ所の架線候補地点に関し、事前調査およびフィージビリティ調査を行った。 昭和49年度は、現地調査の継続作業として地域経済調査、土質、ボーリング調査を行った。昭和50年度は、報告書を作成した。	48	事前調査	48. 8. 12~48. 10. 27	8	} 53, 541
			"	実施調査	49. 2. 5~49. 3. 31	20	
			49	"	49. 4. 1~49. 4. 26	(4)	} 82, 601
			"	"	49. 11. 28~49. 12. 10	8	
			50	報告書説明	50. 9. 5~50. 9. 12	2	30, 528
4	電話設備設置計画調査	ビルマ政府よりあった電話設備供与要請に対し、わが国の実施方向の選定のため、設備の設置予定地域に対する交換機及び線路設備の設置条件等技術的状況を調査。 昭和50年11月に実施した事前調査の結果勧告した設置場所についてのビルマ側の決定に基づいて、設置に必要な実施設計のための現地調査及び資料の収集監理を行うものである。	50	事前調査	50. 11. 11~50. 12. 10	6	} 50, 408
			51	実施調査	51. 3. 9~51. 3. 31	9	
			"	"	51. 4. 1~51. 6. 6	(5)	
			"	報告書説明	51. 5. 18~51. 6. 7	1	
			"	"	51. 10. 14~51. 10. 28	6	
5	イラワジ川流域農業総合開発計画調査	ビルマ政府はイラワジ川中流域のアラカン山脈とペグー山脈に囲まれた地域約200万haについて農業開発の潜在的可能性を引き出すため、イラワジ川流域農業総合	52	事前調査	52. 9. 20~52. 10. 29	7	} 63, 758
			"	実施調査	53. 2. 6~53. 3. 31	13	

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		<p>合開発を計画しわが国にその協力を要請してきた。</p> <p>この要請に基づき昭和52年9月事前調査を実施し、本調査の実施方針を取りまとめた。事前調査の結果に基づき昭和53年2月に水文・水理解析・地質・栽培・土壌・林業・淡水漁業・役済等の分野について基礎調査を実施した。</p> <p>さらに昭和53年10月水理解析・灌漑・排水・栽培等について雨期後調査を実施するとともに、社会経済的観点から地域開発の巨視的な検討を行い、あわせて本計画の一部をなす林業開発計画、淡水漁業開発計画の検討を行った。</p>	53	事前調査			} 139,414
			"	実施調査	53.10.23~54.1.31	19	
			54	"			} 105,415
			"	"	54.7.23~54.9.7	12	
			"	"	55.2.7~55.2.15	5	
6	生物学研究センター 建設計画基本設計調査	<p>ビルマ政府はマラリア、結核、癩病、デング熱、出血熱等の伝染病や風土病の撲滅を図るべくわが国に対し、生物学研究所の建設施設、研究機材の供与、並びに今後の医療技術協力を要請してきた。</p> <p>昭和50年度より3年次にわたって、建物施設の建設、研究機材の供与をすることとし、昭和52年度は最終年度とし、建物施設の建設残部分である動物舎、医療機器センターを無償資金協力により供与したが、その基本設計調査を行った。動物舎は研究に必要なモルモットの確保、医療機器センターは研究用医療機器の集中管理、運営を目的とするものである。</p>	52	特	52.9.27~52.10.12	4	} 13,116
			"	特(報告)	52.12.11~52.12.18	2	
7	工業専門高校施設整備 計画調査	ビルマ国からの無償資金協力要請に基づき、同国が計画中の工業専門高校7校に係る教育機材について現地調査を実施し、報告書を作成した。	53	特	53.9.27~53.10.8	5	2,851
			54	特			399
8	冶金開発研究センター 設立計画調査	<p>ビルマ国には地下鉱物資源が多種にわたり、豊富に存在するが、その開発はほとんど行われていない。ビルマ政府は地下資源開発の第一歩として当該分野における諸技術の習得と研究、専門技術者の訓練・育成、ならびに各事業に対するサービスも実施しうる機能を持つ冶金開発研究センターの設立を計画した。同政府は同センター設立についてわが国に対し、無償資金協力を要請し、このため、同センターの基本設計に係る現地調査を実施するとともに、同センターに係る基本設計報告書を作成した。</p>	53	特(事前)	53.10.11~53.10.25	5	} 34,873
			"	特	53.12.8~53.12.24	8	
			"	特(報告)	53.2.19~53.2.28	4	
			54	特			24
9	南ナウインかんがい計 画調査	ビルマ政府はイラワジ川流域農業総合開発計画対象地域において、もっとも優先度の高い事業としてイラワジ川支流ナウイン川に灌漑ダムを築造し、その下流域約	53	実施調査	53.11.25~54.3.25	8	47,431
			54	"			

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		40,000haに灌漑を行い、稲・畑作物の増産を目的とする灌漑農業開発についてわが国に協力を要請してきた。 この要請に基づいて、昭和54年2月水文・農業・土地利用等について乾期調査を実施した。	54	実施調査	54. 4. 6~54. 4. 14	4	109,551
			"	"	54. 9. 23~54. 11. 25	4	
			"	"	54. 11. 12~54. 11. 22	3	
			"	"	55. 2. 20~55. 2. 27	4	
			55	"	(調査旅費他)		6,150
10	ライスミル建設計画調査	ビルマ国は米の輸出国であるが、近年、米の精米加工施設の老朽化が著しく、精米品質の低下が目立ち、輸出の国際競争力が弱まっている。このような状況のもとで、ビルマ政府は米の主要産地であるイラワジ川下流地域デルタ地帯の生産米を輸出向けの良質精米として確保するため、日産 100~150 t 能力のライスミル建設計画に対する協力を要請してきた。 この要請を受けて昭和54年1月実施調査を実施し、本建設計画に必要な現地調査を行うとともにビルマ政府関係機関と協議を重ね、ライスミルプラントの建設場所、プラント設備内容等、ライスミル建設計画の骨子を取りまとめ中間報告としてビルマ政府に提出した。	53	実施調査	54. 1. 30~54. 3. 16	12	37,036
			54	"			35,777
11	ツワナ橋梁建設計画調査	ビルマ国における橋梁建設技術者の極度の不足を解消するべく橋梁技術者の養成のため、ラングーン市ツワナに設置される橋梁技術訓練センターの実技訓練用として同センター近接のガモエ川に全長約300mの橋梁を建設するもの。 昭和54年度は、詳細設計図の作成を行った。	54	特(実施)	54. 8. 19~54. 9. 17	6	35,934
			"	特(報告)	55. 1. 29~55. 2. 11	6	
12	製薬研究開発センター基本設計調査	ビルマ国においては製薬事情が極端に悪く、唯一の生産機関であるビルマ製薬公社の生産は需要に追いつかず、かつ基礎研究施設もないこともあって政府は第3次4年計画の優先プロジェクトとして製薬公社(PIC)内の工場(BPI)の併設機関として製薬研究センターを設立することを決定し、わが国にそのための資金・技術協力を要請したもの。 昭和54年度は基本設計を実施した。	54	特(実施)	54. 10. 17~54. 10. 27	4	36,110
			"	"	54. 12. 2~54. 12. 22	7	
			"	特(報告)	55. 2. 17~55. 2. 25	5	
			55	特	(報告書作成)		30
13	ミンガラドン空港拡張計画調査	ビルマ国政府は同国唯一の国際空港であるミンガラドン空港の滑走路の延長およびその他の所要施設拡充を計画、立案し、わが国に技術協力を要請してきた。	54	事前調査	54. 6. 19~54. 6. 28	5	9,289
			"	実施調査	54. 10. 2~54. 11. 5	11	

ミャンマー

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		昭和54年度は事前調査に引き続き本調査を実施し、ファイナル・レポートを作成した。	55	実施調査	(報告書作成)		113
14	ラングーン中央診療センター建設計画	全国の病院から依頼される複雑な病状の診断を一手に引き受ける中央診療センターを設置するため調査を実施し、基本設計書を作成した。	55	特	55. 7. 6~55. 7. 12	2	34,950
			"	特	55. 12. 12~56. 1. 2	9	
			"	特	56. 3. 1~56. 3. 10	4	
15	オカンダムかんがい計画実施調査	昭和54年7月、同国政府はミマカ川流域におけるかんがい開発計画の調査を要請した。これに応じて、昭和55年11月にS/Wを締結し、昭和56年1月より現地調査を実施した。その概要は、ラングーンの北方約100km地点のミマカ支流に建設が予定されているオカンダムを水源とするオカン地区約37,000ha(かんがい面積21,500ha)の計画と小規模発電計画のF/Sの実施である。	55	実施調査	55. 10. 29~55. 11. 11	4	59,166
			"	"	56. 1. 29~56. 3. 28	9	
			"	"	56. 3. 19~56. 3. 28	3	
			56	"	56. 8. 24~56. 8. 31	5	
16	収穫後処理技術センター建設計画	米の収穫後処理過程における穀物の損失を防ぐために必要な収穫後処理技術センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56. 11. 30~56. 12. 25	4	17,265
			"	"	57. 3. 8~57. 4. 4	7	
			57	"	57. 9. 12~57. 9. 18	5	
17	都市飲料水開発計画	中部地方2都市における飲料水開発に必要な資機材の供与に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56. 7. 26~56. 9. 13	6	26,303
			"	"	56. 11. 28~56. 12. 4	2	
18	中央農業開発センター建設計画	農業研究開発および農業普及の体系化を図るための中央農業開発センター建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	57. 3. 6~57. 3. 14	6	9,597
			57	"	57. 6. 9~57. 6. 16	3	14,013
19	テレビ放送施設拡充計画	テレビ放送スタジオ建設および野外放送中継車、テレビ標準方式変換装置等の機材供与に係る基本設計調査を実施した。	56	特	57. 3. 21~57. 4. 3	6	5,421
			57	"	57. 6. 12~57. 6. 19	4	25,998
20	鉄道整備計画	ビルマ政府より要請のあった、1)インマピン〜レパンチャン間銅鉱石運搬鉄道建設計画、2)チャギン〜バセイン間鉄道電化計画、3)マンダレイ〜モニワ間鉄道電化計画等につき優良案件を選定し、F/Sを行うものである。 昭和57年度は要請内容、背景等の確認のためコンタクト・ミッションを派遣した。	57	事前調査	58. 3. 27~58. 4. 11	5	4,085
			58	"			357
21	評価調査	ビルマにおける経済技術協力案件のうち、有償資金協力案件である工業化4プロジェクト、無償資金協力案件である南ナウイン地区末端灌漑施設建設計画並びにプロジェクト方式技術協力案件である畜産開発計画の各プロジェクトの評価を実施し	57	実施調査	57. 11. 14~57. 11. 23	12	5,065

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		た。					
22	船舶修理ドックヤード建設計画	ビルマ国政府の要請により20,000DWT級および12,000DWT級の船舶の修理ドックを建設する計画のF/Sを行うものである。 昭和57年度は事前調査団を派遣し、要請内容の確認を行いS/Wを締結した。 昭和58年度には本格調査を行い、59年度に最終報告書を提出した。	57	事前調査	58. 3. 30~58. 4. 11	5	3,420
			58	実施調査	58. 8. 24~58. 11. 30	17	
			"	"	59. 3. 7~59. 3. 16	5	97,727
			59	"	(報告書作成)		
23	教科書印刷機械整備計画	教科書、練習帳の印刷・製本を行う「印刷・出版公社」の拡充に必要な機材供与に係る基本設計調査を実施した。	57	特	58. 4. 2~58. 4. 14	6	1,433
			58	"	(報告書作成)		9,770
24	看護学校建設計画	看護、保健、助産婦の養成・訓練のための看護学校建設に係る基本設計調査を実施した。	57	特	57. 11. 21~57. 12. 3	4	32,228
			"	"	57. 12. 11~57. 12. 31	4	
			"	"	58. 2. 27~58. 3. 11	4	
			58	"			22
25	青少年教育センター建設計画	図書館、球技施設等を有する青少年教育センター建設計画に関し、昭和57年度には事前調査を行い、58年度に基本設計調査を実施した。	57	特(事前)	58. 2. 19~58. 2. 27	3	3,338
			58	特	58. 6. 3~58. 6. 23	8	
			"	特(報告)	58. 9. 3~58. 9. 11	3	
26	エビ養殖センター建設計画	輸出振興の一環としてエビ養殖を図るために必要な施設の建設に係る事前調査および基本設計調査を実施した。	57	特(事前)	58. 1. 23~58. 2. 6	3	1,836
			58	特	58. 5. 8~58. 5. 27	7	22,324
27	園芸開発センター建設計画	園芸作物(野菜、果樹)の研究開発に必要な施設の建設にかかる基本設計調査を実施した。	58	特(事前)	58. 8. 7~58. 8. 19	4	16,265
			"	特	59. 2. 5~59. 2. 12	4	
			"	"	59. 4. 1~59. 4. 21	7	
			59	特(報告)	59. 7. 6~59. 7. 15	5	14,237
28	ラングーン鉄道環状線電化計画	ラングーン大都市圏の交通混雑緩和を目的として国鉄の輸送力増強及び近代化を図るためにラングーン大都市圏の鉄道環状線電化計画にかかるF/Sの実施で、昭和58年度は第1次現地調査、59年度には引き続き第2次現地調査、国内解析作業等を行い最終報告書を作成した。	58	事前調査	58. 7. 31~58. 8. 8	4	25,599
			"	実施調査	59. 3. 6~59. 3. 29	14	
			59	"	59. 6. 10~59. 7. 14	14	102,813
			"	実施調査	59. 10. 17~59. 10. 26	5	
59	"	60. 1. 8~60. 1. 17	7				
29	経済技術協力調査	(ビルマ、スリ・ランカ)	58	事前調査	59. 2. 28~59. 3. 9	(4)	(960)

ミヤンマー

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		世界一般を参照のこと。					
30	ライン河橋建設計画	ビルマ国ラングーン～バセイン間の道路交通を円滑化する目的のもとにラングーン近郊を流れるライン河に架橋するためF/S調査を実施するものであり、昭和59年度は事前調査団を派遣した。しかしながらその後ビルマ国政府内で本件調査実施に関し見解が統一されず、同国政府より要請がとり下げられた。	59	事前調査	59. 7. 8～59. 7. 20	5	3,898
31	漁船修理センター建設計画	漁船修理施設を整備し、漁業の振興を図るための機械修理工場、修理棧橋等の建設及び資機材の供与にかかわる基本設計調査を実施した。	59	特	59. 6. 10～59. 6. 30	8	} 36,944
			"	特(報告)	59. 8. 31～59. 9. 11	5	
32	都市飲料水開発計画	9都市の生活用水を確保するための給水の施設整備及び資機材の供与にかかわる基本設計調査を行った。	59	特(事前)	59. 6. 17～59. 7. 1	4	} 56,418
			"	特	59. 9. 7～59. 11. 18	9	
			"	特(報告)	60. 2. 20～60. 3. 3	3	
33	医療機材整備計画	中央レベル病院及び地方主要病院の医療機材の整備にかかわる基本設計調査を実施した。	59	特	59. 7. 29～59. 8. 15	5	18,741
34	家畜衛生センター機材整備計画	家畜疾病対策等のため3地方の家畜衛生センターの各種機材の整備にかかわる基本設計調査を実施した。	59	特	59. 10. 28～59. 11. 17	6	16,061
35	幹線鉄道整備計画	ラングーン～マンガレイ間を中心とした鉄道の軌道、信号通信を改良する計画についてのF/Sである。軌道、信号及び通信設備の長期改良計画を策定するとともに、緊急性の高いものについて、短期計画を作成し、F/Sを実施するものであり、昭和60年度は事前調査を実施するとともに、これに基づき、現地本格調査を開始した。 昭和61年度は昭和60年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書を作成・提出した。	60	事前調査	60. 7. 28～60. 8. 9	5	} 75,127
			"	実施調査	61. 1. 15～61. 3. 14	15	
			61	"	61. 7. 23～62. 1. 16	30	
36	イラワジ河橋建設計画調査	プロム市付近にてイラワジ河を渡河する橋梁建設計画につき、F/Sを実施するものであり、昭和60年度は事前調査を実施するとともに、これに基づき現地本格調査を開始した。 昭和61年度は昭和60年度に引き続き現地本格調査を実施し、最終報告書の作成・提出を行った。	60	事前調査	60. 7. 21～60. 8. 2	7	} 93,367
			"	実施調査	60. 11. 10～61. 3. 20	19	
			61	"	61. 5. 23～62. 1. 23	27	

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
37	経済技術協力評価調査	(インドネシア, タイ, ビルマ) アジア一般を参照のこと。	60	援助評価	60. 8. 22~60. 9. 11	(2)	(1,124)
38	経済技術協力評価調査 (放送セクター)	テレビ放送施設拡充計画(Ⅰ, Ⅱ) (インドネシア, ビルマ)	62	評価調査	63. 1. 27~63. 2. 12	(5)	4,173

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	天然ガス資源開発計画調査	ラングーン北北西 200kmのイラワジ流域のチャンギン地区の天然ガス開発のため、地質及び探鉱調査をした。	37	海	38. 2. 7~38. 4. 28	13	9,000
			38	"			837
2	鉱物資源開発計画調査	ラングーンより約 400kmに在るビンマナ, 東部山地のスズ, タングステンの鉱床調査及び地質調査を実施し, 鉱量, 単位, 探鉱, 選鉱, 輸送のフィージビリティ・スタディを行い, この地域の開発計画を立案。	46	海	47. 3. 7~47. 3. 27	7	5,951
			47	"			4,143
3	製油所建設計画調査	内陸油田地帯に近いマン地区における製油所建設の適否について調査した。	50	海	51. 2. 14~51. 3. 9	10	21,365
			51	"	51. 9. 27~51. 10. 6	1	30,958
4	チャンギンセメント工場拡張計画調査	増大するセメントの需要に対処すべくビルマ国は新たに 400t/日2基の増設を計画し, わが国に協力の要請をしてきた。このため同計画について経済的ならびに技術的調査を実施した。その内容は, 同国におけるセメントの需給状況ならびに将来の市場動向の予測, 既存設備の現状, 原料状況, 増設に係る基本計画の策定, インフラストラクチャーの整備ならびにユーティリティーの検討, 経済性の検討等の調査である。	53	海	53. 11. 29~53. 12. 27	6	27,029
			54	"	54. 6. 10~54. 6. 16	2	3,593
5	LPG回収計画調査	ビルマ国内で産出するLPGの有効利用を図ることを目的として, シリアムおよびマンにおける集出荷, 貯蔵施設の建設, LPG輸送用パイプの調達およびマン油田における随伴ガスからのLPG抽出プラント建設を行うことについての経済的, 技術的可能性調査である。 今回は上記についてのF/Sを実施した。その結果, 本プロジェクトは, 採算性はさほど高くないが, 低利で且つ返済期間が長期にわたる資金の調達が可能となれ	56	海	56. 8. 21~56. 8. 28	13	40,942
			"	"	56. 9. 25~56. 10. 16		
			"	海(報告)	57. 1. 24~57. 1. 31	3	

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		ば、十分実行可能なプロジェクトとなり得るとの報告がなされた。					
6	LPG総合開発計画	<p>イラワジ川周辺から産出するLPGを総合的に開発、輸出しようとするものであり、次の3つのフェーズから構成される。</p> <p>フェーズⅠ：パートⅠ シリアム製油所におけるコーカーの建設 パートⅡ シリアム、マンにおけるLPGターミナルの建設及びLPG輸送用バージの調達</p> <p>フェーズⅡ：マン油田におけるLPG回収プラントの建設</p> <p>フェーズⅢ：タンタビン油田におけるLPG回収プラントの建設</p> <p>昭和59年度はフェーズⅢについての事前調査を実施した。</p> <p>昭和60年度は、現地調査及び国内作業を実施し、技術的・財務的・経済の見地からプロジェクトが可能であるとの結論を得、報告書に取りまとめ、ビルマ側に送付した。</p>	59	海(事前)	59. 7. 25~59. 8. 3	3	3,038
			60	海	60. 4. 26~60. 5. 17	8	} 51,672
			"	海(報告)	60. 8. 23~60. 9. 1	4	
7	亜鉛製錬所建設計画	<p>1911年に建設されたNamtu 鉛製錬所は鉛地金と亜鉛精鉱を生産しているが、この亜鉛精鉱と、鉛製錬過程で発生するスラグを原料とした亜鉛製錬所のF/Sを実施するものである。</p> <p>昭和61年度は昭和61年11月に事前調査を行ったが、昭和62年1月にビルマ政府から本件要請の取下げがあった。</p>	61	事前調査	61. 11. 5~61. 11. 18	5	7,416
8	4工業プロジェクト近代化計画	<p>ビルマ4工業プロジェクトにかかる工場を診断し、技術的・経済的観点から近代化の可能性を調査する。</p> <p>昭和62年度は事前調査を実施し、実施細則を締結し、これに基づき現地本格調査を行った。</p> <p>昭和63年度は昭和62年度に実施した現地調査に基づき、中間報告書を作成し、その説明を行った後、ドラフトレポートを作成した。その後、ミャンマーで政変が起こったため、調査は中断している。</p>	62	海(事前)	62. 10. 7~62. 10. 17	8	} 186,303
			"	海	63. 1. 27~63. 2. 23	26	
			63	海	63. 6. 5~63. 6. 19	14	202,038
			元	"			3,133
9	水力発電開発マスタープラン	<p>経済・社会開発に必要な電力供給のために有限な化石燃料の利用に代えて、ビルマの恵まれた水力発電資源の開発を積極的に推進すべく、M/P調査を実施するも</p>	62	海(予備)	63. 2. 14~63. 2. 26	5	3,029
			63	海			9,815

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		のである。 昭和62年度は、予備調査団を派遣し、本格調査の実施計画を策定した。 昭和63年度は、現地調査を8月から実施すべく計画していたが、先方の政情不安等から調査の実施は見合わせられた。	元	海			807
10	鉱工業プロジェクト選定確認調査	(4工業プロジェクト近代化)	62	海	62. 6. 26~62. 7. 5	10	6,052

資源開発協力基礎調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	モニワ地区資源開発協力基礎調査	ビルマ国政府の要請によりモニワ鉱山開発の可能性を調査した。調査対象地域は同国中部に所在するマンダレー市西方約134kmに位置する。この調査では地質調査、物理探査(1P)、ボーリングを行った。	47	資	47. 12. 20~48. 3. 31	17	49,928
			48	"	48. 4. 1~48. 5. 5	(7)	
			"	"	48. 11. 21~49. 3. 31	19	167,715
			49	"	49. 4. 1~49. 5. 1	(10)	
			"	"	49. 5. 10~50. 3. 31	7	124,603
			50	"	50. 4. 1~50. 8. 3	(5)	
			"	"	50. 5. 7~51. 3. 31	34	284,611
51	"	51. 4. 1~51. 4. 9	(1)	38,831			
2	プロジェクト選定調査	(コロンビア, ドミニカ共和国, ザンビア, ビルマ, メキシコ) 世界一般を参照のこと。	58	資	59. 3. 12~59. 3. 23	3	1,420

[援助効率促進事業]

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト確認調査	(経済協力政策対話)	63	プロジェクト確認調査	1. 3. 10~1. 3. 14	1	385
2	消化器感染症研究	保健医療協力事業	元	案件別評価調査	2. 1. 10~2. 1. 19	4	2,413

〔無償資金協力〕

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	林業技術開発機材整備計画	増大する木材需要に対処するため、チェーンソー、ブルドーザー等林業機械の供与。	56. 3. 26	6					
2	生物医学研究センター建設 計画（Ⅱ、Ⅲ期）	昭和50年度の無償資金協力により施設の一部（7億円）を建設した生物医学研究センターの追加協力。 （Ⅱ期）研究棟、図書館および発電・変電施設の建設 （Ⅲ期）動物舎の建設、研究用機材の供与	52. 7. 12	15	52	基本設計	52. 9. 27～52. 10. 12	4	} 開発調査 （196） （157） （77）
			53. 8. 25	13	"	"（報）	52. 12. 11～52. 12. 18	2	
					54	実施調査	54. 7. 11～54. 7. 27	（2）	
					"	"	55. 1. 31～55. 2. 10	（3）	
					"	"	55. 2. 4～55. 2. 10	（1）	
3	地域短期大学機能強化計画	職業訓練教育の拡充強化のため、地域短期大学の職訓用機材の供与。	53. 8. 28	5	54	実施促進	54. 7. 11～54. 7. 27	（2）	（196） （57） （77）
					"	"	55. 1. 31～55. 2. 10	（3）	
					"	"	55. 2. 4～55. 2. 10	（1）	
4	橋梁建設計画（Ⅰ期）	第3次4カ年計画に基づき、イラワジ川およびその支流の橋梁（トゥウウン橋、トンゼ一橋およびチュンガー橋）の建設に必要な小型棒鋼の供与。	53. 12. 15	5					
5	工業高校教育改善計画	工業技術者の養成機関として第3次4カ年計画により新設された5校の工業高校への教育機器の供与。	54. 7. 26	7	53	基本設計（事）	53. 9. 27～53. 10. 8	5	} 開発調査 （196） （77）
					54	実施促進	54. 7. 11～54. 7. 27	（2）	
					"	"	55. 2. 4～55. 2. 10	（1）	
6	ラングーン、マンダレー総合病院医療施設整備計画	ラングーンおよびマンダレーの各総合病院の外科部門ならびに関連設備の拡充に必要な医療機器等の供与。	54. 7. 26	6	54	実施促進	54. 7. 11～54. 7. 27	（2）	（196） （77）
					"	"	55. 2. 4～55. 2. 10	（1）	
7	冶金研究開発センター設立 計画	ビルマ国政府は鉱物資源の開発とあわせ採鉱選鉱技術の開発、向上を図っているが、この一環で鉱物資源の高加度化の実現を目的としたセンターの建設。	54. 7. 26	20	53	基本設計（事）	53. 10. 11～53. 10. 25	5	} 開発調査 （196） （77）
					"	基本設計	53. 12. 8～53. 12. 24	8	
					"	基本設計（報）	54. 2. 19～54. 2. 28	4	
					54	実施促進	54. 7. 11～54. 7. 27	（2）	
					"	"	55. 2. 4～55. 2. 10	（1）	

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
8	南ナウィン末端かんがい排水施設建設計画	南ナウィン地区のかんがい面積率を12%から17%に引き上げ、乾期農作を可能とするための施設の建設および建設機械の供与。	55. 8. 28	8. 73	54	基本設計	54. 9. 23~54. 11. 25	7	} 開発調査 (1,387)
					"	"	55. 2. 20~55. 2. 27	4	
					58	フォローアップ	59. 3. 21~59. 4. 3	(5)	
9	都市飲料水開発計画 (I, II)	(I) 都市飲料水供給システムの整備を進めるため、中部ビルマの2都市(プローム、マグヴェ)をモデルとして生産井、給水施設等を設置する計画に必要な機材の供与。	56. 10. 30	8. 30	56	基本設計	56. 7. 26~56. 9. 13	5	} 開発調査 (278)
					"	基本設計(報)	56. 11. 28~56. 12. 4	3	
					"	実施促進	56. 9. 26~56. 10. 7	(2)	
		(II) 9都市を対象とした施設の整備と資機材の供与。	60. 7. 2	26. 90	59	基本設計(事)	59. 6. 17~59. 7. 1	4	} 開発調査 188
					"	基本設計	59. 9. 7~59. 11. 18	9	
					"	基本設計(報)	60. 2. 20~60. 3. 30	3	
10	総合病院建設計画 (I, II期)	医療サービスの向上、医療技術の向上を目的とした総合病院の建設(ラングーン市内)。	56. 6. 3	18. 80	55	基本設計(事)	55. 7. 6~55. 7. 12	2	} 開発調査 (278) 925 1,724 (515)
					57. 6. 30	16. 20	"	基本設計	
			"	"	"	基本設計(報)	56. 3. 1~56. 3. 10	4	
			"	"	56	実施促進	56. 9. 26~56. 10. 7	(2)	
			"	"	58	"	58. 10. 2~58. 10. 7	2	
			"	"	59	評価	60. 2. 24~60. 3. 6	3	
			"	"	62	フォローアップ	62. 6. 21~62. 6. 28	(2)	
11	製薬研究センター建設計画	医薬品開発のための研究および人材育成を図るための製薬研究センターの建設。	55. 6. 18	20	54	基本設計(事)	54. 10. 17~54. 10. 27	4	} 開発調査 (250)
					"	基本設計	54. 12. 2~55. 12. 22	7	
					"	基本設計(報)	55. 2. 17~55. 2. 25	5	
					55	実施促進	55. 5. 31~55. 6. 9	(2)	
12	電話網補修計画	電話通信機能の維持を図るため補修に必要な電気通信機器スペアパーツの供与。	56. 1. 22	0. 35					
13	橋梁建設計画(II期)	センター方式技術協力として昭和54年度か	55. 8. 28	5	54	基本設計	54. 8. 19~54. 9. 17	6	開発調査

ミャンマー

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		ら協力を行っている橋梁技術訓練センタープロジェクトのon the job training 用として、ツワナ橋を建設した。			54	基本設計(報)	55. 1. 29~55. 2. 11	6	(294)
					55	実施促進	55. 10. 29~55. 11. 7	(2)	
14	中央農業開発研修センター建設計画	農業普及員に対する統一的な研修計画の企画、立案、研修教材の作成等の機能と農業普及員に対する中央研修施設としての機能を有するセンターの建設。	57. 6. 30	19. 10	57	基本設計	57. 3. 6~57. 3. 14	6	開発調査 (463)
					"	基本設計(報)	57. 6. 9~57. 6. 16	3	
					"	実施促進	57. 6. 30~57. 7. 14	(2)	
15	テレビ放送施設拡充計画 (I, II期)	1982年度から始まる第4次4カ年計画で学校教育放送の開始、放送時間の延長、番組の充実、受信地域の拡大を図るとしてこれに必要な施設の建設と機材の供与。	57. 6. 30	17. 30	56	基本設計	57. 3. 21~57. 4. 3	6	開発調査 514
			58. 6. 29	12. 30	57	基本設計(報)	57. 6. 12~57. 6. 19	4	
					62	フォローアップ	62. 6. 21~62. 6. 28	(2)	
16	収穫後処理技術開発センター建設計画	穀物の収穫後処理過程における量的、質的損失の解消のため収穫後処理技術の開発と研修を行うセンターの建設。	58. 6. 29	15. 50	56	基本設計(事)	56. 11. 30~56. 12. 25	4	開発調査
					"	基本設計	57. 3. 8~57. 4. 4	7	
					57	基本設計(報)	57. 9. 12~57. 9. 18	5	
17	看護学校建設 (I, II期)	看護婦不足の解消と質的向上のための施設建設と教育実験用機材の供与。	58. 6. 29	18. 90	57	基本設計(事)	57. 11. 21~57. 12. 3	4	開発調査 (1,060)
			59. 6. 4	9. 80	"	基本設計	57. 12. 11~57. 12. 31	4	
					"	基本設計(報)	58. 2. 27~58. 3. 11	4	
					60	実施促進	60. 12. 8~60. 12. 21	(1)	
18	教科書印刷施設拡充計画	老朽化し30%が稼動していない国営印刷施設の拡充に必要なオフセット印刷機等機材の供与。	58. 6. 29	6. 90	57	基本設計	58. 4. 2~58. 4. 14	6	開発調査
					58	実施促進	58. 8. 1~58. 8. 10	(1)	(314)
19	淡水エビ種苗生産センター建設計画	水産物の自給、輸出振興を旨とするオニテナガエビの養殖に必要な種苗生産施設の建設。	58. 12. 6	8. 54	57	基本設計(事)	58. 1. 23~58. 2. 6	3	開発調査 1,687
					58	基本設計	58. 5. 8~58. 5. 27	7	
					59	実施促進	59. 4. 22~59. 4. 27	1	
					"	"	60. 1. 27~60. 2. 6	2	
20	青少年教育センター建設計画	体育教育施設、自然科学教育施設の不足の	59. 7. 10	14. 31	57	基本設計(事)	58. 2. 19~58. 2. 27	3	

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
	画(Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ)	現状を改善し、青少年の健全な知育、体育を 促すための国立スポーツ公園を建設する。 屋外競技場、プラネタリウム等の施設の建 設と機材の供与。	60. 7. 2	22.35	58	基本設計	58. 6. 3~58. 6. 23	8	開発調査
			61. 8. 19	18.34	"	基本設計(報)	58. 9. 3~58. 9. 11	3	
					62	評価調査	62. 5. 27~62. 6. 7	(4)	1,180
21	果樹、野菜研究開発センタ ー建設計画	育種、栽培、病虫害、土壌の基礎的研究開 発を行うためのセンターの建設。	59. 9. 20	21.90	58	基本設計(事)	58. 8. 7~58. 8. 19	4	開発調査
					"	基本設計	59. 2. 5~59. 2. 12	4	
					"	"	59. 4. 1~59. 4. 21	7	
					59	基本設計(報)	59. 7. 6~59. 7. 15	5	
22	食糧増産援助	ビルマ国政府は第4次4カ年計画(1982~ 1985)において農業を最重要視し、高収量品 種および肥料等の導入による米増産に力を入 れている。生産増大に必要な肥料、農薬、農 業機械の供与。	59. 9. 20	25	59	実施促進	59. 11. 18~59. 11. 25	1	533
			60. 2. 3	1	60	"	60. 12. 8~60. 12. 21	(1)	(268)
			60. 9. 17	25	"	"	61. 2. 9~61. 2. 16	(1)	
			61. 12. 30	25	61	"	61. 7. 2~61. 7. 11	(1)	563
			63. 2. 17	24	"	"	62. 3. 25~62. 4. 3	(1)	
					62	"	62. 6. 21~62. 6. 28	2	
					"	"	63. 3. 2~63. 3. 11	(1)	
		63	"	元. 3. 10~元. 3. 19	(2)	1,334			
23	漁船修理センター建設計画 (Ⅰ, Ⅱ)	人民真珠漁業公社(PPFC)の漁船修理 施設を整備する。 (Ⅰ)機械修理工場、修理棧橋、船台等の建 設 (Ⅱ)乾ドックの建設、クレーンの供与	59. 12. 18	11.50	59	基本設計	59. 6. 10~59. 6. 30	8	開発調査
			60. 7. 2	8.91	"	基本設計(報)	59. 8. 31~59. 9. 11	5	
					62	評価調査	62. 5. 27~62. 6. 7	(4)	1,180
24	医療機材整備計画 (Ⅰ, Ⅱ)	(Ⅰ)中央レベル病院(4病院)に対する臨 床検査用および手術用機材、地方主要病 院(9病院)に対する歯科用および眼科 用機材の供与 (Ⅱ)新ラングーン総合病院の放射線科およ	60. 2. 22	6.86	59	基本設計	59. 7. 29~59. 8. 15	5	開発調査
			60. 7. 2	6.27	61	実施促進	61. 7. 2~61. 7. 11	(1)	188

ミャンマー

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		び臨床検査科関係の施設と資機材の整備							
25	家畜衛生センター機材整備 計画	ラングーン中央家畜衛生センターおよび 3地方の家畜衛生センター(マンダレー、タ ウンジー、パセイン)の整備に必要な機材の 供与。	60. 4. 5	5.71	59	基本設計	59.10.28~59.11.17	6	開発調査 2,144
					60	実施促進	60. 6. 9~60. 6. 16	1	
					"	"	60.12. 8~60.12.21	(1)	
					"	"	61. 2. 9~61. 2. 16	(1)	
26	かんがい技術センター設立 計画	かんがい技術者の養成と、設計、施工の合 理化、標準化を行うかんがい技術センターの 建設。	61. 8. 19	24.29	60	基本設計(事)	60.11.10~60.11.22	1	19,791
					"	基本設計	61. 1.31~61. 2.24	8	
					61	基本設計(報)	61. 5.14~61. 5.22	4	24,905
27	プロジェクト・ファインデ ィング調査	(ビルマ、インドネシア) 新規案件の発掘を行った。			60	計画打合	61. 2.16~61. 2.22	(3)	(753)
28	原種貯蔵センター建設計画	ピンマナ市イェジンに稲・豆類等の原種を 収集保存するとともに遺伝学的研究を行うた めのシード・バンクを建設する。	61. 7. 7	16.13	61	基本設計(事)	61. 5.18~61. 5.30	2	43,051
					"	"(本)	61. 7.27~61. 8.19	8	
					"	"(報)	61.11. 5~61.11.14	5	
					63	実施促進	元. 3.10~元. 3.19	(2)	349
29	中央林業開発訓練センター 設立計画	ラングーン管区モービーにおいて森林局職 員を中心とする林業関係者の訓練・研修を行 うセンターを設立する計画。	62. 7. 7	27.25	61	基本設計(事)	61.11. 9~61.11.23	3	13,113
					"	"(本)	62. 2. 1~62. 2.24	8	
					62	"(報)	62. 5.10~62. 5.17	4	14,451
					"	実施促進	63. 3. 2~63. 3.11	(1)	
					63	実施促進	元. 3.10~元. 3.19	(2)	348
					元	"	2. 3.13~2. 3.22	(1)	303
30	マンダレー教育病院建設計 画	医学教育の質量両面からの充実およびア ッパビルマ地域における病院整備を目的とし た教育病院建設計画。	63. 1.17	1.80	61	基本設計(事)	61.11.12~61.11.23	5	29,290
					"	"(本)	62. 1.28~62. 2.24	10	
					62	"(本)	62. 4.22~62. 5. 3	5	26,770
					"	"(報)	62. 7. 1~62. 7.10	6	
31	海事教育訓練計画	海洋技術専門学校がS T C W条約を満たす ために強化および新設する航海研修コースに	62. 7. 7	5.91	61	基本設計(本)	61.12. 7~61.12.26	5	13,751

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		必要となる機材を供与する。							
32	地方10都市電話網開発計画	地方10都市に関し自動交換機等を設備し電話網の拡充を図る。	62. 9. 22	7. 33	61	基本設計（本）	62. 2. 15～62. 3. 21	10	22, 025
					62	”（報）	62. 6. 21～62. 6. 30	5	27, 692
33	亜鉛製錬所建設計画	鉛精錬過程で産出・堆積されている鉛熔鉱炉及び亜鉛精鉱を原料とした亜鉛製錬所の企業化可能性調査。			61	基本設計（事）	61. 11. 5～61. 11. 18		
34	四工業プロジェクト近代化計画	重・軽車輛製造、農業機器・電気機器製造に係る工場の近代化計画を策定する。			62	基本設計（事）	62. 10. 7～62. 10. 17		
					”	実施調査	63. 1. 27～63. 2. 26		
35	水力発電開発計画	7地点のポテンシャルサイトを対象に2017年までの需要に見合った水力発電開発マスタープランを策定。			62	選定確認	63. 2. 14～63. 2. 26		
36	道路・橋梁建設計画	ナウアン橋を含む道路・橋梁建設に必要な機材の供与。	61. 12. 30	14. 884	61	実施促進	62. 3. 25～62. 4. 3	(1)	375
37	公共施設等建設計画				62				354
38	海外事務所執行分				2				712

[災害援助等協力事業]

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救援物資	所要経費 (千円)
63	山火事	昭和63年3月20日	死者 134人 負傷者 62人 家屋喪失 3, 081世帯 被災者 15, 390人	① 被災状況調査 ② 医薬品等供与	4月10日～16日	業務調整員 1名	医薬品、医療資機材	19, 064
”	火事	平成元年2月16日	死者 詳細不明 負傷者 100～200人 焼失家屋 2, 059戸 被災者 22, 008人	① 被災状況把握 ② 相手国ニーズ調査 ③ 医薬品供与	3月1日～7日	業務調整員 1名	毛布、食器セット、医薬品、医療資材	23, 398
3	火災	平成3年4月7日	死者 約20人 被災者 約25, 000人		物資供与時期 3年4月		医薬品、医療資材、毛布、スリーピングマット、	18, 799

ミヤンマー

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救援物資	所要経費 (千円)
			家屋焼失 5,125件				ポリタンク, 洗剤, 石鹸 食器セット, タオル, 懐中電灯	
3	洪水	平成3年8月	死者 1人 被災者 約28万人		物資供与時期 3年8月		医薬品, 医療資材, 毛布 浄水剤, 石鹸, タオル	14,287

